

## 飯能 南川ボルダ― Ver.2.0

2023.1.17 RCT/K

西吾野の先の久通川を天目指峠方面に入り暫く行った子ノ権現への道路分岐少し下流と、子の権現への林道に入り、少し行った薪集落の手前にボルダ―がある。2017年にA岩とB岩を紹介したが、その後他のボルダ―により新たな課題が追加されている。

この付近のボルダ―は乾きが悪く苔が付きやすいが、最近トライされているA岩のハングやB岩は苔も少なく登りやすい状態になっているのはありがたいことである。

シーズンは、日陰で苔が付きやすく、雨後の乾きは悪いので、乾燥した冬季がベストである。

駐車については、A岩は橋を渡った先の神社前と子ノ権現分岐辺りにスペースがある。川原への降り口はゴミの集積所があるので駐車は控えた方が良い。B岩からH岩はB岩の少し先辺りにスペースがある。I岩からL岩は久通川側から林道を登って行くとボルダ―の手前川側に小さなスペースがある。

なお、今回新たに登ったボルダ―は、B岩の上流側とC岩からL岩で、以前大まかに掃除をしておいたのだが、今回きれいに掃除をしてトライしてみた。怪我の影響や登る機会があまりなかったこともあり、力の低下が顕著で、登った課題は易しいものばかりである。



### 《課題紹介》

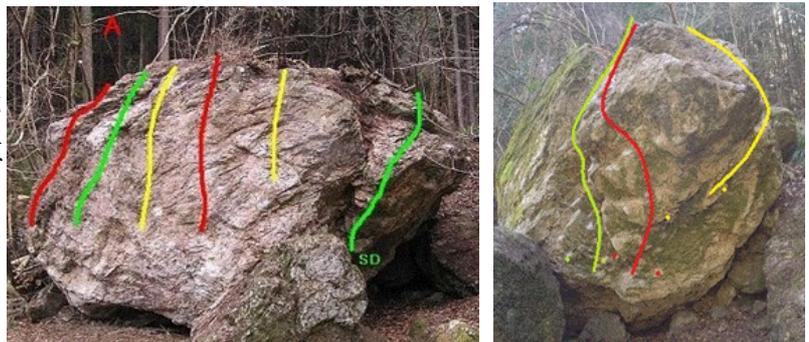
#### ■久通川本流ボルダ―

##### ●A岩 (左:川側 右:上流側)

高さは3m程。左のフェイスは苔が付き気味だが大分落としてもらったようである。右のハング部分はトライされていることもありきれいである。

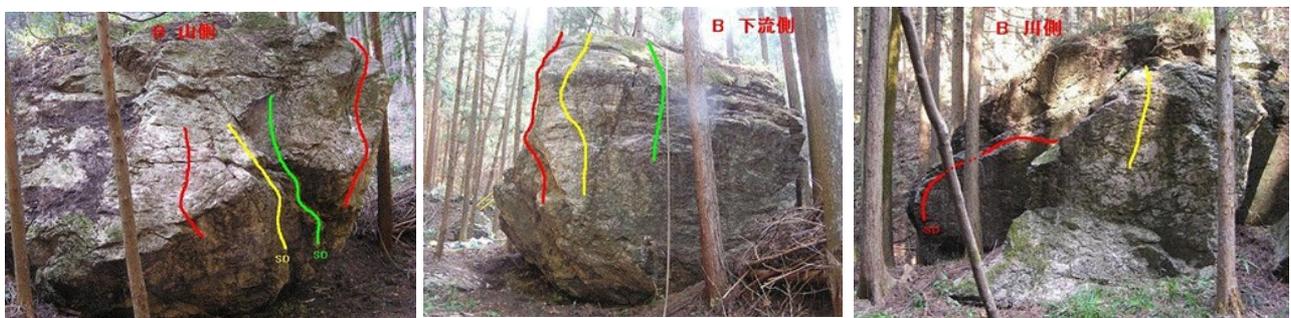
トポは最初の情報提供時(2017)のもので、その後新たに追加された課題は下記のチャンネル参照。

「アンボくん vlog」 <https://www.youtube.com/@bigblue0727>



#### ■薪ボルダ―

##### ●B岩 (薪メインボルダ―)



道路から見える岩で。高さは4m程であるが、上部は傾斜が落ちているので実質3m程度である。この岩も新たに課題が追加され楽しめるボルダ―となっている。

トポは最初の情報提供時(2017)のもので、その後新たに追加された課題は下記チャンネル参照。

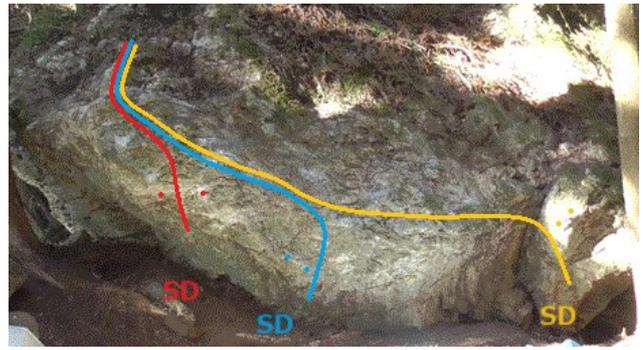
「アンボくん vlog」 <https://www.youtube.com/@bigblue0727>

### ○B岩上流側(今回新たに登った課題)

上流側に小ハングがあり、リップトラヴァースが  
できそうなので掃除して易しい課題を3本設定し  
た。ウォームアップ程度にはなると思われる。

赤ラインのスタートは両手小カチからリップ上に  
デッド。

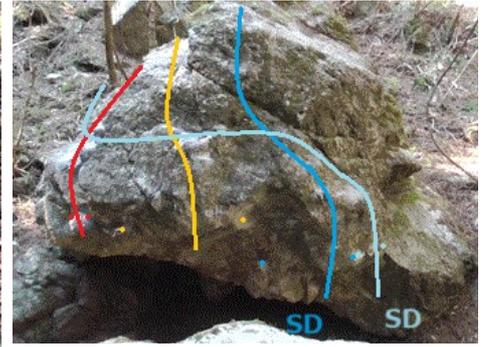
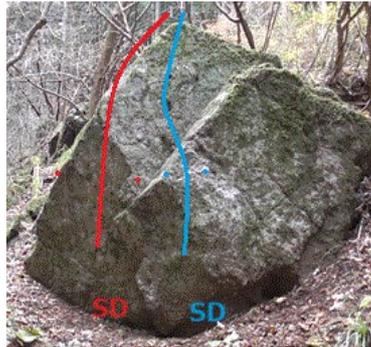
青ラインのスタートは両手アンダー気味のホー  
ルドからリップのガバっぽいホールドにデッド。



### ●C岩&D岩 (左:C岩 右:D岩)

C岩は、B岩から道路を少し  
下ったところの道路すぐ下にある  
三角形の岩。

赤ラインのスタートは、左手はカ  
ンテのパーミング(少し上にカチ  
ホールドがあるがSDでは届かない)、  
右手は極小カチ。



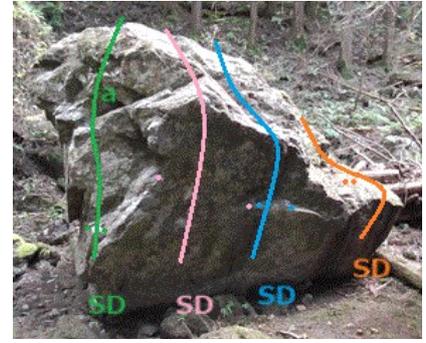
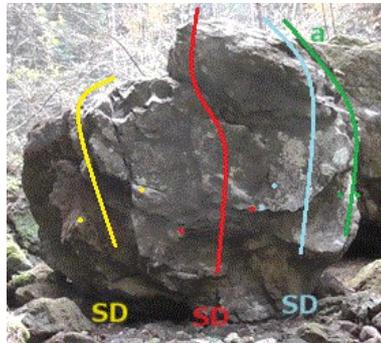
D岩は、道路側から見えないが  
川側がハングしており面白そうなのだが、あまり良いSDスタートホールドがないのが残念。

青ラインのスタートホールドは右手はスローパーホールド、左は小カチ。スローパー右の縦ホールドはスタートで使用しない。左でハング内の外形小ホールドをとったらハング上のホールドに右手をとばす。

赤ラインとオレンジラインは立ち位置からスタートで少々パワフル。

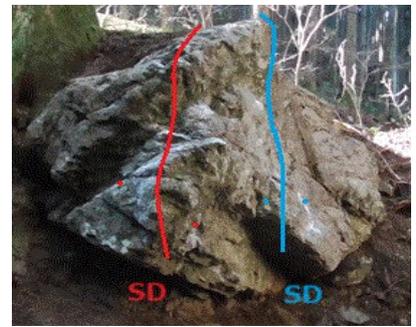
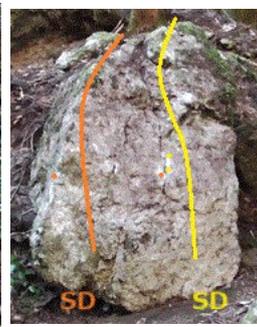
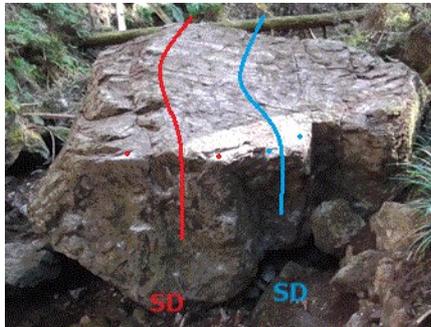
### ●E岩

D岩の北側にある岩で、高さはな  
いがホールドが豊富で、易しいSD  
課題が7本程ある。



### ●F岩&G岩&H岩 (左:F岩 中央:G岩 右:H岩)

これらの3  
個の岩はE  
岩の少し下  
流にある。

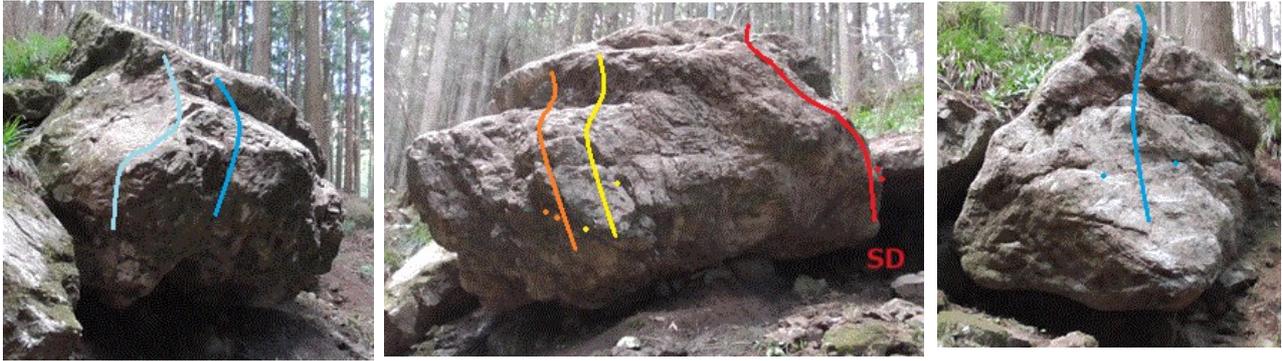


F岩は、E岩の少し下流の川沿いにある上がスラブの小さな岩。リップ付近のホールドから身体を上げスラブに這い上がる。スラブのホールドが細かい。

G岩は、F岩の側にある傾斜の無い小さな岩。易しい課題が2本ある。

H岩は、G岩の下流左岸にある側壁状の岩。ハングを越える赤ラインがちょっと楽しめる。

●I岩&J岩 (左:I岩上流側 中央:I岩川側 右:J岩)



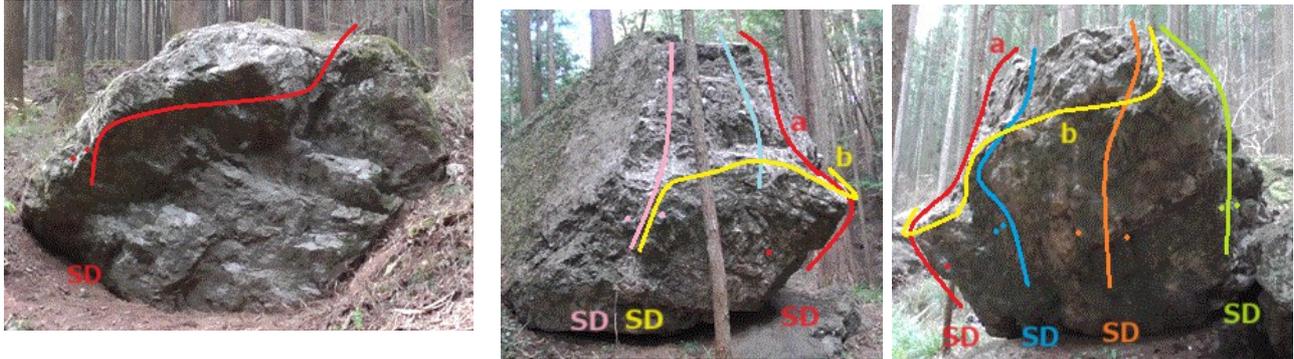
I岩は、林道を登って行くと左下に見える大きめの岩でガバホールドが沢山あるが、下地が悪く岩の下から水がしみだしている上に傾斜地になっており、特に中央部は上部から落ちるとちょっと危ない。以上の理由からお勧めできるボルダーではない。

赤ラインは、石に腰かけ左上するが、ガバまで行ってから落ちると下が土手なので注意が必要である。

他のラインは尻がつかないの、立ち位置または腰を下げた状態でのスタートである。

J岩は、I岩の横にある小さな岩で、SD スタートは未解決。

●K岩&L岩 (左:K岩 中央:L岩上流側 右:L岩川側)



K岩は、林道から下るとL岩の手前にある小さな岩。トラヴァース課題が1本あるが、右の大きなフレイク状ガバまでは岩の一番高い部分は不使用という限定あり。

L岩は、2つ並んだ岩で上流側の岩がボルダリングの対象で適度なホールドがありいろいろと楽しめる。川側のハング下に一輪車(運搬車)が放置されている。